

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

1. 研究課題名	原発性アルドステロン症の局在における生理食塩水負荷試験と血管内皮機能の検討		
2. 対象患者	当院で原発性アルドステロン症と診断された患者様		
3. 対象となる期間	2010年 1月 ~ 2015年 12月		
4. 実施診療科等	内分泌内科, 糖尿病代謝内科, 感染症科		
5. 研究責任者	氏名	対馬 悠子	所属 内分泌内科, 糖尿病代謝内科, 感染症科
6. 研究の意義	原発性アルドステロン症はコントロール不良な高血圧を来す重症例から軽症例まで様々ですが、どこまで積極的に治療すべきか明確な基準がありません。これまでの当院での副腎静脈サンプリングの検査成績では両側性の患者が多く、中には比較的軽症な症例も多く含まれます。副腎静脈サンプリングは侵襲的で高額な検査であるため、検査前に手術適応にならない軽症例を予測できないか検討します。		
7. 研究の目的	アルドステロン症診の診断に用いる負荷試験の結果と副腎静脈サンプリングの結果を比較し、副腎静脈サンプリングで両側性の診断となる症例を予め予測できないか検討します。また除外される群とされない群で合併症に違いが無いかについても比較検討します。		
8. 研究の方法 (使用する資料等)	アルドステロン症診断のために用いる生理食塩水負荷試験(生理食塩水を4時間かけて2L点滴し、アルドステロンがどの程度低下するかを調べる検査)の結果と副腎静脈サンプリングの結果を比較します。また除外される群とされない群で合併症に違いがあるかを調べる目的で血管内皮機能検査や採血結果、既往症、降圧剤の内訳についても比較検討します。		
9. 個人情報の保護	研究結果は、論文報告等に用いますが、患者自身の個人情報は全て匿名化して管理し、個人情報の漏洩が起らないようにします。また、名前や個人を識別する情報は、報告に当たって一切使用されません。		
10. 利益相反に関する状況	特にありません。		
11. 問い合わせ先	内分泌内科, 糖尿病代謝内科, 感染症科 助手 対馬 悠子		
	電話	0172-39-5062	FAX - -